

東京神学大学 事業報告書（2019年度）

I 法人の概要

1. 設置する大学と建学の精神

学校法人東京神学大学は、神学部神学科の学部、並びに組織神学専攻と聖書神学専攻を擁する大学院（博士課程前期、後期課程）を設置しています。これに併せて総合研究所（日本伝道研究所並びにアジア伝道研究所）を付設しています。2019年度の入学定員は学部7名、別途3年編入学定員23名で、学部総定員は74名、大学院博士課程前期課程入学定員は各専攻15名、博士課程後期課程入学定員は各専攻2名です。2019年度の学生数は学部43名、大学院60名、計103名（2019年5月1日現在）。

本学は、福音主義のキリスト教神学を研究し、福音の宣教に従事する教役者（牧師、キリスト教学校の聖書科教員などの伝道者）を養成すること、特に日本基督教団の教職者の養成と神学的指導の使命を担うことを「建学の精神」としています。これによって教育と事業を貫く「基本理念」を以下のように表明しています。「東京神学大学は日本基督教団の教職養成の責を担うものであるが、それとともに合同教会としての教団の世界教會的理想に従い、より広く日本の諸教会、アジアの諸教会の教職養成に貢献し、かくして日本の宣教と世界教會の宣教とに奉仕しようとするものである。」

2. 東京神学大学の沿革

東京神学大学は、日本基督教団の成立に併行して、福音主義キリスト教各派の神学機関を統合しながら成立し、この成立史とそこから生じる使命のゆえに「教団立神学校」として、今日に至っております。成立の経緯の概要は以下の通りです。

- 1856（安政06）年 プロテスタント諸教會の宣教師たちが日本で宣教を始める。
- 1872（明治05）年 横浜に最初の教会「日本基督公会」が設立される。
- 1873（明治06）年 宣教師のS・ブラウンが横浜に最初の神学塾「ブラウン塾」を開校。
- 1877（明治10）年 「東京一致神学校」（後の明治学院）開校。
- 1904（明治37）年 植村正久牧師により「東京神学社」設立。
- 1930（昭和05）年 本学の前身「日本神学校」が設立され、「明治学院神学部」が合流。
- 1941（昭和16）年 プロテスタント諸教派の合同教団として日本基督教団設立。
- 1943（昭和18）年 教派ごとに分かれていた15の神学校が「日本東部神学校」・「日本西部神学校」・「日本女子神学校」の3校に統合される。
- 1944（昭和19）年 「日本東部神学校」・「日本西部神学校」が、さらに「日本基督教神学専門学校」として合流。
- 1945（昭和20）年 「日本女子神学校」の後身「日本基督教女子神学専門学校」も「日本基督教神学専門学校」に合流。
- 1949（昭和24）年 新制度による大学として「東京神学大学」となる。
- 1951（昭和26）年 私立学校法の公布に伴い「学校法人東京神学大学」に組織変更。千代田区富士見町から三鷹市牟礼に移転。
- 1966（昭和41）年 三鷹市牟礼から現在地（三鷹市大沢）に移転。

- 1968 (昭和 43) 年 本館東部部分を増築。
 1986 (昭和 61) 年 本館から独立させて図書館棟を建設。
 2011 (平成 23) 年 韓国イエス教長老会神学大学校と相互協力協定を結ぶ。
 2020 (令和 2) 年 教員住宅を更新。

3. 役員・教職員の概要 (2020年3月31日現在)

(1) 理事 (18名)

理事長	伊藤 瑞男	理事	小林 眞
学長理事	芳賀 力	〃	佐々木美知夫
財務理事	長山 信夫	〃	嶋田 順好
常務理事	岩澤 嵩	〃	楠本 史郎
〃	藤掛 順一	〃	W.ジャンセン
〃	棟居 洋	〃	東野 尚志
〃	黒沼 健	〃	松井 睦
〃	湊 美都子	〃	清藤 城宏
理事	木下 宣世	〃	河田 直子

(2) 監事 (2名)

監事	小山田小八郎
〃	齋藤 孝

(3) 評議員 (37名)

評議員	岡村 恒	評議員	藤掛 順一
〃	山畑 謙	〃	山縣 史子
〃	服部 修	〃	黒沼 健
〃	武田 真治	〃	神代 真砂実
〃	小林 眞	〃	芳賀 力
〃	杉森 耀子	〃	小泉 健
〃	半田 浩介	〃	井ノ川 勝
〃	望月 修	〃	佐々木美知夫
〃	岩澤 嵩	〃	小堀 康彦
〃	湊 美都子	〃	古屋 治雄
〃	宍戸 基男	〃	黒米 理恵
〃	市川 一宏	〃	渡邊 義彦
〃	松井 睦	〃	河田 直子
〃	W.ジャンセン	〃	D.リーディー
〃	木下 宣世	〃	嶋田 順好
〃	東野 尚志	〃	棟居 洋
〃	清藤 城宏	〃	片桐 牧雄
〃	長山 信夫	〃	戸塚 智之
〃	楠本 史郎		

(4) 教育職員 (14名)

学 長	芳 賀 力	教 授	小 泉 健
教 授	関 川 泰 寛	准 教 授	須 田 拓
〃	神 代 真 砂 実	〃	長 山 道
〃	小 友 聡	常 勤 講 師	田 中 光
〃	中 野 実	助 教	藤 野 雄 大
〃	W. ジャンセン	特 任 教 授	棚 村 重 行
〃	焼 山 満 里 子	〃	朴 憲 郁

(5) 事務職員 (14名)

事務長	片 桐 牧 雄		
総務課	戸 塚 智 之	木 村 訓 子	
経理課	光 永 豊	福 本 浩 子	
財務課	松 本 秀 則		
教務課・学生課	小 林 由 希 子	萩 原 なおみ	山 田 雅 子
	原 田 恵 美		
図書館	木 下 真 由 美	岸 本 苑 子	今 中 匡 彦
印刷室	保 坂 久 実		

II 事業の概要

2019年度は、三回目の大学認証評価申請の年となり、諸課題の改善活動を取り進め、その結果、大学基準協会から2020年度(令和2年)より七年間の「大学認証評価」を受けた。また、私立学校法の改正に伴う寄附行為の改正、中期計画の策定等も実施し、諸制度、体制が整備された年といえる。

一方、キャンパス整備基本計画事業も3年目を迎え、第一段となる教員住宅が2020年3月に竣工した。

そうした近年の大学改革の試みの延長戦上にある2019(令和1)年度全体の本学の教育・事業の進捗状況や主たる改革努力について事業の概要を、ここで報告することとしたい。

1. 教育理念・目的および教育内容・方法・成果にかかわること

本学は、寄附行為前文、また学則に規定されているように、伝道献身者の養成を目的とし、そのための教育体制を整えている。しかし、2017年度より神学研修志望枠を設けて、信徒として教会やキリスト教学校、キリスト教施設等を支えようとされる方々にも学部の学びを開放し、そのような広義の伝道者の養成も使命と捉えるようになった。2017年度にこの枠での3名の入学者があったが、2019年度にも5名がこの枠で入学した。その神学研修志望枠で入学された方の中に、学部の学びを進める中で、伝道者として献身する志が与えられる方があり、教授会の面談を経て、2017年度末に1名が既に伝道献身枠に移籍したが、2019年度末にも3名が伝道献身枠に移籍した。

近年、理念・目的を確実に達成するために、教育課程を整備すると共に、学修成果の多様な測定と、それによる教育の充実を求められている。本学では、担任との面談等を通して、常に召命を確認することを重視してきたが、学業の面においても、成績以外の様々な測定方法を用いるための様々な検討がなされている。2019年度は、卒業時アンケートを実施して、各自が本学での教育を通して何を、どの程度、どのように身に付けることができたか、自己評価をしてもらうこととし、2020年3月の卒業生に実施した。

また、伝道献身者を育成するという一つの目的の下で、学部と大学院それぞれの教育の果たすべき役割を明確にすべく、既にそれぞれの学則に、学部と大学院それぞれの目的を記載しているが、大学基準協会より、大学院のアドミッションポリシーやカリキュラムポリシーを、さらに理念・目的に合わせてより具体化させることを求められ、2019年度末に改定した。

博士課程後期課程については、日本伝道また世界伝道のために、神学における学問的貢献のできる者を育成することは重要な課題であり、ますます活発にする必要があるが、特に数年来、論文博士だけでなく課程博士の博士号取得者を増やす必要を自覚して、様々な改革を進めてきた。2018年度には1名が課程を修了して課程博士の博士号を取得し、2019年度は3名の入学者があったが、今後も、牧師として任地へ赴き牧会をしながら、あるいは他大学でキリスト教関係科目の教育を担当しながら、しかし十分な研究時間を確保して学び続けることができるよう、制度改革や支援の拡充に取り組んでいきたい。

2. 教育研究組織および教員・教育組織にかかわること

a. 授業担当者能力養成 (FD)

本年度も、前期・後期にわたり科目を選択して交代させながら、学部と大学院双方で、授業効果調査アンケートを行い、それらの調査結果を授業担当者全員に開示した。

b. 大学院博士課程後期課程研究発表会

2019年6月25日の一般講演時間に、大学院博士課程後期課程研究発表会を開催し、在学中の小松博士氏(旧約神学)と、助教に就任した藤野雄大氏(歴史神学)の二氏が、それぞ

れ研究発表を行った。伝道心ある神学研究的牧師の研究発表の機会でもあり、全学行事としても定着しつつある。

c. 日本伝道研究所主催講演会

ここ数年、日本伝道研究所の活動を活発化させるべく、日本伝道研究所主催の講演会を年1回開催している。2019年度は1月14日に楠本史郎牧師（北陸学院院長）により、「トマス・ウィンと北陸伝道」と題した講演を伺い、北陸伝道の歴史を学びつつ、それを踏まえた現代における伝道への示唆を与えられる時となった。今後も、日本における伝道の進展に寄与するために、日本伝道研究所の活動をさらに活性化させていきたい。

d. 2018年度に博士学位を取得した田中光助教が2019年度より常勤講師として任用されたことで、助教制度が後継者育成の機能をも果たしたと言える。2019年度は助教1名（歴史神学）を新規採用したことで、教育職員の定数14名を超える15名を確保したが、9月に大住学長の逝去、さらに年度末に助教1名と教授1名が退任した。

3. 学生の受け入れにかかわること

a. 新入学生の動向

2019年度には、神学部・神学科1年次に3名、同3年次に17名、学部としては合計20名の入学者を迎えた。なお、このうち5名は神学研修志望による入学である。2018年度の入学者は14名であり、全体としては献身者の数が大幅に不足している。大学としての定員充足の問題にまして、諸教会・学校に伝道者を送り出す使命を果たすために、献身者を呼び起こし、学生を受け入れる不断の努力が必要である。

b. 高校生会、青年の集い、オープンキャンパス行事

①2019年度の高中生会は、2020年3月23、24日に予定され、首都圏の教会への案内も送付されていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受けて中止となった。

②本学と発起人教会によって行われている「第21回日本伝道を担う青年の集い」は、2019年9月28日に本学で開催され、102名が参加した。昨年度より10名の減少であったが、教会数は57で昨年より9教会多かった。

③「オープンキャンパス」は、2019年12月7日に実施され、学外からは17名の参加があった。そのうち受験相談には10名が残った。昨年度に比べ、学外からの参加者の数は少なかったが、受験相談者の数はほぼ同数であった。こうした地道な努力が中長期的に本学の志願者増大へと結びつくよう期待している。

④青年の集いやオープンキャンパスの後の受験相談が確実に受験に結びついている一方で、入学志願者への働きかけとしては時期が遅いとの指摘があったため、数年前から、より早い時期に「入試説明会」を行うこととし、2019年も7月20日に開催された。13名の出席があった。

4. 学生支援にかかわること

a. 障がい者への配慮

2011年度に入学した視覚障がいをもつ学生は2018年度に学びを終え、巣立っていった。2019年度は新しく視覚障がいを持つ学生1名を受け入れた。この学生は日頃の授業等での配慮は必要としていないが、文献を読んだり文書を作成したりすることに時間を要するため、試験の時間を延長するなどの措置を講じている。

障害者差別解消法の施行により設置された自動ドア、エレベーターなどは、病気やけがを抱え、移動が困難な学生たちにとっても大きな助けとなっている。

b. 学内モラルの向上プログラム

2015年以来毎年4月に行っている神学校全学集会では、本学を構成するすべての者たち

が召命共同体として自覚を持ち、使命感を明確にして共に学校生活を形作っていくための大切な機会となっている。2019年度も4月23日に行われた。また、伝道者養成のために学問としての神学を学ぶだけでなく、生活全体を献身者として整えていけるように「生活倫理講座」を行っているが、2019年度も5月7日に「性の倫理について」の講座を、11月26日に「心の健康について」の講座を開催した。

c. 夏期伝道実習および神学生出席教会の牧師との懇談会

2019年度の夏期伝道実習は、8月4日～9月1日の期間、全国各地の教会で行われた。実習参加者は、学部4年生12名、大学院修士課程1年生17名、大学院修士課程2年生1名合計30人であった。これは例年よりも10名以上少ないが、実習生を受け入れてくださる教会も同じように減少している。秋には、実習先教会牧師の報告書と実習生の報告をもとにして、実習委員会の教授たちが参加学生と面談した。そこでさまざまな課題を共に話し合い、今後の大学と出席教会における学生の訓練の生活に役立てるように話し合いの時を持った。

神学生が出席している教会の牧師と教授会との懇談会は、例年どおり後期始業式（9月19日）の後に行われた。学外から23名の牧師の出席があった。今年の発題は古屋治雄牧師（阿佐ヶ谷教会）と辻川篤牧師（相模原教会）が担われた。

d. 留学生との懇談会

毎年、留学生（永住者も含む）全員と教授会メンバー全員とで懇談会を持っている。留学生の一人一人が学びや生活の状況を話し、またあまりかかわりのない教員とも交流を持つ機会となっている。2019年度は12月3日に行われた。留学生4名が出席した。

e. 卒業予定者の就職状況

今年度は、大学院修士課程前期2年生の修了者は17名、学部からの卒業者は3名（大学院の学びをした2名を含む）、計20名が巣立っていった。大学院で学んで19名のうち、2名はすでに他教派の教職であった。残りの17名は全員が日本基督教団の教会等に遣わされていった。

5. 社会連帯・社会貢献にかかわること

a. 韓国のイエス教長老会神学大学校との交換教授プログラム

2019年度は、中野実教授が10月1日～4日の期間、イエス教長老会神学大学校を訪問して講演を行い、また教授たちと学術交流を行った。

b. 学校伝道協議会の開催

2019年5月25日（土）、本学を会場にして「第20回キリスト教学校伝道協議会」が開催された。主題は「教育を通して伝道する可能性」であった。学外から48名が参加した。また一部プログラムを重ねる形で教員免許状更新講習を行っており、9名の受講者があった。全体として70名が参加し、さらに講演等には学生も参加した。

c. 日本伝道フォーラムおよび東京神学大学後援会公開講演会活動

①2019年6月3～4日、日本伝道フォーラムが開催された。「日本伝道フォーラム」としては第2回、日本伝道協議会からの通算では第29回であった。主題は「福音的公同教会の伝道力ー共通の信仰告白に立つー」で、芳賀力教授が主題講演を担当した。前回到引き続き、テーマ別のワークショップを行った。学外からの参加者122名を迎え、合計151名が参加した。例年、第二日目の夕方に、会場を銀座教会に移して公開講演会を行ってきたが、今回はこれをお休みした。

②2019年度も、全国33地区の東京神学大学後援会が公開講演会を行い、多くの教職・信徒の方々が参加した。教会数は延べ306教会、参加者総数は1,172人であった。

d. 教職セミナーの開催

2020年1月7日～9日、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に第51回教職セミナーが開催された。主題は「贖罪論と今日の教会」で、須田拓准教授が主題講演を担当した。神学以外の専門家を招いて行う特別講演は、近藤存志先生（フェリス女学院大学教授）が「信仰の表明としての建築：ゴシック・リヴァイヴアルの精神」と題して講演して下さった。教会の信仰の土台を学ぶ時となった。学外の教職73名を迎え、学内の教職員、大学院前期課程修了予定者を合わせ、計105名が参加した。

e. 東京神学大学公開夜間神学講座

本講座は、毎週二回（月・金曜日：午後6:00～8:00）、銀座教会の福音会センターで開催されてきた、74年の歴史を持つ信徒のための公開講座である。各年度を3学期に分け、2年間かけて神学入門、旧約聖書、新約聖書、組織神学、教会史や世界宗教史、キリスト教美術や音楽、実践神学などの諸学を講師から学ぶ。講師は全体で16名を数え、ほぼ全員が本学で教鞭をとる教授や講師である。そのうち11名が本学の専任教員である。正規生として2年間で全20科目を学ぶほか、聴講生として1科目から聴講することも可能である。2019年度は第72期・73期の正規生計13名、聴講生延べ170名であった。

通常の講座の他、8月26～27日には一泊二日の夏期研修会が国民生活センター（相模原市）で行われた。「問いかける教理—摂理と三位一体」という主題で神代真砂実教授が講演し、46名の参加者があった。春季研修会は「洗礼を受けられた私たち—新約聖書から学ぶ」と題して中野実教授が講演を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。

夜間講座の受講から本学の受験に至る人も少なくないので、そのためにも多くの受講生を迎えるための絶えざる働きかけが大切である。地方での講座実施、インターネットを利用した遠隔地への配信などは引き続いての検討課題である。

6. 内部質保証（自己点検評価）にかかわること

a. 東京神学大学「内部質保証向上委員会」の機能の実質化

2013年7月に本学の「内部質保証向上委員会」が設置され、本学における内部質保証体制に責任を持つことになった。2018年度にその規程等が整備され、2019年度は、内部質保証向上委員会を中心とした内部質保証体制を実質化させる年となった。今後、大学内のあらゆる課題について、内部質保証向上委員会が把握し、教授会や各委員会に改善の検討を求めことになる。また、内部質保証向上委員会が中心になって、自己点検評価に基づく外部評価を依頼し、その結果を受け取る。2018年度は、2017年度自己点検評価報告書に基づいて、ルーテル学院大学学長の市川一宏先生に外部評価をしていただいたが、2019年7月に内部質保証向上委員会が中心となって市川先生と面談し、本学の使命と特色を踏まえての今後の改善課題等について懇談した。今後、外部評価をさらに積極的に実施して行く予定である。

b. 大学基準協会による審査

大学基準協会による大学としての適合認定が2020年3月31日で満了するため、2019年度に大学基準協会の審査を受けた。いくつかの点で指摘を受けたが、大学基準に適合しているとの認定を受けることができた。指摘された事項については、既に年度内に改善したものもあるが、今後検討して行くことになる。

7. 施設や設備に関する主たる事業について

a. 学内 DNS サーバー設置

年に数回発生していた DNS サーバーの不具合(図書館システムのインターネットサービス接続不可)解消のため、新たに DNS サーバーを2019年5月11日にサーバー室に設置し、

図書館 OPAC サーバーを含め、学内各所の PC の DNS 設定を変更した。

CenturySystems 社製 FutureNet MA-E320 1 台。

その後、DNS サーバーが自動的にシャットダウンする障害が 1 件発生している。原因究明のため、ログ回収機器の導入と 2 台目の DNS サーバー設置を予定している。

b. 学内 Wi-Fi ネットワーク設置

予てより要望があったがキャンパス整備事業の工事の進捗により遅れていた Wi-Fi ネットワークサービスを 2019 年 6 月 28 日から運用開始した。

学内ネットワークとは別に新規の光回線を契約し、図書館棟 2F に引き込んだ。

引き込み回線は、NTT フレッツ光を契約し、2019 年 3 月 20 日から工事を開始し、5 月 27 日に配線工事を実施。大教室、ラウンジ、図書館閲覧室の 3 か所に Cisco 社製 Meraki のアクセスポイントを設置した。

プロバイダーは NTTPC コミュニケーションズの InfoSphere と契約し、6 月 5 日に開通した。

c. 事務 PC リプレース

2020 年 1 月に Windows 7 のセキュリティサポートが終了するため、事務局 PC のリプレースを実施した。2020 年 8 月から開始し 12 月末までにリプレース完了。

Windows 10 への更新に加え、Microsoft Office 2019、セキュリティソフトを Symantec Endpoint Protection Cloud へのアップグレードも行った。

- ・本館事務室等の PC 計 11 台 (トリプルアイズ)
- ・教務課の PC 計 5 台 (コンピュータムーブ)
- ・図書館の PC 計 10 台 (東京コンピュータサービス)

旧 PC の機材は 2020 年 3 月 19 日に業者がハードディスク破壊と回収を行い、廃棄処分した。

d. 本館の空調機の更新

2019 年度は C 教室及び E 教室の更新を行った。

e. 主な修繕工事

2018 年度に開発道路が完成したが、既存の外灯が撤去され夜間の通行に支障を来していたため、2019 年 4 月に LED の外灯を設置(7 か所)して、安心して通行できるように改善した。本館 2F の天井照明についても明るさ人感センサー付き LED 照明に更新した。

f. キャンパス整備事業

2018 年度に開発道路が完成し、2019 年度は教員住宅を着工、完成とほぼ計画通りに進めることができた。2020 年度は学生寮の建設を開始する。学生寮の建設完了時に資金不足が予測されたが、第 3 号基本金を事業資金(第 1 号基本金)へ移行する多くの同意を得られ、借入れを行うことなく、建築が進められる計画となった。各事業の進捗は以下の通りである。

① 教員住宅

2019 年 5 月にキャンパス整備事業の起工式を行い、教員住宅の建設を始め、2020 年 3 月に完成・引き渡しを受け、供用を開始した。計画通りバリアフリー対応住戸を含む 5 戸と、単身住宅 2 戸のテラスハウスを建設した。当初、教職員住宅と仮称していたが、名称は教員住宅と決定した。教員住宅には倉庫が併設されており、大学の備品倉庫としても使用していく。

② 学生寮

教員住宅に続き白石建設が建設を行う。2020 年 3 月より、既存の校宅の解体、建設予定地の整地を開始した。2020 年 5 月の着工を目指しているが、三鷹市との事前打ち合わ

せ等で指摘事項を受けており、協議の継続が必要なため遅れる可能性がある。新たな学生寮は、寮生の生活環境向上による学習成果の向上だけでなく、通学生との交わりの場、更には新たに献身者を志すものが増えるきっかけになると期待しているので、計画通りの完成を目指して進めていく。

③ 研修センター

基本構想を検討中であるが、資金繰りを含めて、学生寮完成時点で再度着工時期について判断する。2020年度中に、コンセプトや必要機能をまとめる計画で進めていく。

8. 主たる行事

- (1) 4月1日 公開夜間神学講座開講式 銀座教会
- (2) 4月2日 入学式・前期始業式、任職式
式 辞：芳賀 力学長代行
任 職 式：田中 光常勤講師
始業講演：「士師記2：1-5における『泣く礼拝』：ベテルの記憶の探究」
田中 光常勤講師
- (3) 4月2日～4日 新入・編入生オリエンテーション
- (4) 4月5日 公開夜間神学講座 1学期開始 銀座教会
- (5) 4月6日 前期授業開始
- (6) 4月23日 神学校全学集会
- (7) 4月24日 クラス別懇談会
- (8) 5月14日 全学懇談会
- (9) 5月21日 前期学生総会
- (10) 5月25日 第20回キリスト教学校伝道協議会
主題「教育をとおして伝道する可能性」
教員免許状更新講習
- (11) 5月30日 運動会
- (12) 5月31日 公開夜間神学講座 クラス会
- (13) 6月3日～4日 日本伝道フォーラム
主題「福音的公同教会の伝道力 ―共通の信仰告白に立つ―」
主題講演講師 芳賀 力教授
- (14) 6月11日 全学祈祷会
- (15) 6月25日 博士課程後期課程研究発表会
- (16) 7月9日 夏期伝道実習オリエンテーション
- (17) 7月12日 公開夜間神学講座 1学期最終日
- (18) 7月16日 夏期伝道実習壮行祈祷会
礼拝説教：橋本いずみ牧師（西宮一麦教会）
- (19) 7月20日 入試説明会
- (20) 7月29日 前期授業最終日
- (21) 8月1日 夏期休業開始
- (22) 8月4日～9月1日 夏期伝道実習期間
- (23) 8月26日～27日 公開夜間神学講座 夏期研修会 国民生活センター
「問いかける教理 ―摂理と三位一体―」 神代真砂実教授
- (24) 9月2日 公開夜間神学講座 2学期開始
- (25) 9月17日 大学院修士論文提出締切
- (26) 9月19日 後期始業式、始業講演「救済論における教会の存在理由」 芳賀 力教授

午後「神学生出席教会牧師と教授会との懇談会」

- (27)9月20日 後期授業開始
- (28)9月20日～21日 大学基準協会実地調査
- (29)9月28日 第21回日本伝道を担う青年の集い
開会礼拝説教「あなたを支えるキリストの祈り」 田中 光常勤講師
献身の勧め：高 承和牧師（聖和教会）、木村太郎牧師（宇都宮教会）
- (30)10月1日 夏期伝道実習報告会
- (31)10月8日 講演会「EUの機構とBrexitの動向」
講演者 縣公一郎氏（早稲田大学 政治経済学術院教授）
- (32)10月8日～17日 11月入試願書受付期間
- (33)10月15日 講演会「スコットランド神学におけるポスト・カルケドンのキリスト論
～マキントッシュ、ベイリー、マコーリー」
講演者 デイヴィッド・ファーガソン氏（エディンバラ大学神学部教授）
- (34)10月21日 日本伝道フォーラム準備委員会 銀座教会
- (35)10月22日 全学修養会 基調講演Ⅰ「教会の現代的課題について」
講師：濱田壮久神父（カトリック末広町教会・港南教会主任司祭）
- (36)10月29日 全学修養会 基調講演Ⅱ
パネルディスカッション「さあ、教会形成へのビジョンを語ろう」
- (37)11月5日～6日 全学修養会
主題講演Ⅰ（一日目）「教会共同体のリフォーム ～被災地で示されたこと」
講師：白井 真牧師（福島伊達教会）
主題講演Ⅱ（二日目）パネルディスカッション「現場からの報告と提案」
講師：白井 真牧師（福島伊達教会）
三河悠希子先生（活水高等学校 活水中学校 宗教主任）
上野 峻一牧師（鎌倉雪ノ下教会）
菊池美穂子牧師（キリスト品川教会）
- (38)11月23日 11月入試実施日
- (39)11月27日 11月入試合格発表
- (40)12月4日 修士論文合格発表
- (41)12月7日 オープンキャンパス
- (42)12月9日 日本伝道フォーラム実行委員会 銀座教会
- (43)12月10日 学長任職式
新学長 芳賀 力教授
祝 辞 東野尚志牧師（滝野川教会）
- (44)12月13日 クリスマス礼拝「あなたの中にある光」
説教：伊藤英志牧師（三軒茶屋教会）
- (45)12月13日 公開夜間神学講座 クリスマス会
- (46)12月14日 冬期休業開始
- (47)12月16日 公開夜間神学講座 2学期終了
- (48)1月7日～9日 第51回教職セミナー 国立オリンピック記念青少年総合センター
主題「贖罪論と今日の教会」 主題講演 須田 拓准教授
特別講演「信仰の表明としての建築：ゴシック・リヴァイヴァルの精神」
近藤存志先生（フェリス女学院大学教授）
- (49)1月11日 後期授業再開
- (50)1月20日 公開夜間神学講座 3学期開始

- (51) 1月21日 第2回全学祈祷会
- (52) 1月28日 後期学生総会
- (53) 2月6日 後期授業最終日
- (54) 2月11日～12日 2月入試実施日
- (55) 2月14日 2月入試合格発表
- (56) 2月26日 2019年度大学院前期課程修了者、学部卒業者発表
- (57) 3月3日 3月入試実施日
- (58) 3月5日 3月入試合格発表
- (59) 3月5日 卒業礼拝 説教 船戸良隆牧師（勝沼教会）⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- (60) 3月6日 卒業・修了式 ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、学位授与式として実施
 - 告辞 芳賀 力学長
 - 励ましの辞 石橋秀雄牧師（教団総会議長）、森研四郎牧師（鎌倉教会）⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り止め
- (61) 3月6日 公開夜間神学講座 3学期終了
- (62) 3月9日 公開夜間神学講座 春季研修会 ⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止の延期
- (63) 3月13日 公開夜間神学講座 第72期生修了式
- (64) 3月30日 高校生会（学生会主催）⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止の中止